



高山西ロータリークラブ

例会報告

第 2630 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1966 年 1 月 15 日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
- 大垣共立銀行 高山支店 4 F
- 会長 折茂 謙一
- 幹事 米澤 久二
- 会報委員長 脇本 敏雄



「2012 秋の高山祭 獅子舞」 蜘蛛 康介

<会長の時間>

今回は私の座右の書についてお話しします。若い時から心の拠り所となるような本を探していましたが、なかなか思う様な本に出会うことができませんでした。日本の仏教の本や孟子、孔子といった中国の古典など読んでみましたが、靴の上から足の裏をかくような、わかったようなわからないような、あまりピンとくるものはありませんでした。



私が 32 歳の時、偶然というか必然というか三島由紀夫の書いた「葉隠入門」に出会いました。これは三島の葉隠への思い入れが込められていて、三島自身を支え三島の心のよりどころとして三島が選ぶ一冊の本は葉隠であると書かれています。私は 24、5 歳ころから三島由紀夫の小説を読み始めており、彼の書いたものはほとんど全て目を通していました。この葉隠入門の初版発行は昭和 42 年 9 月 12 日となっており、私が 29 歳の時でした。なぜか 3 年間この本は私の目につかなかったのです。

三島はボディビルで彼の貧弱な肉体を改造して空手や剣道に打ち込み、更に自衛隊に体験入隊をして体を鍛えました。三島は昭和 45 年 11 月 25 日東京都新宿区の陸上自衛隊東部方面監察部の総監室に盾の会会員とともに乱入して演説した後、割腹自決しました。私が買った本は昭和 45 年 12 月 20 日出版の第五版で、三島が割腹自決をしたすぐ後に出版されたものです。

葉隠は江戸時代『1700年』佐賀の鍋島藩藩士山本常朝が武士としての心得を説いたものを田代陣基が筆録した記録となっています。日常生活全般にわたる行動指針が詳しく述べられています。葉隠の原本そのものは少し泥臭く直接読んでいたとしたらそれはどのインパクトを受けなかったかもしれません。天才三島の筆力と想いが葉隠を三島流葉隠に変身させていると思います。鉄の筋肉と鋼の神経を持った、気力あふれる戦士の美学のような感じです。この本は三島文学の中では異端的かもしれませんが、私にとっては最高傑作に思われます。

葉隠で一番有名な『武士道とは死ぬことと見つけたり』という一文こそ、人間の生き様を端的に表現していると思います。この段の最後に『毎朝毎夕改めては死に改めて死に常住死身になり

て居るときは武道に自由を得一生越度なく家職を果たすべきなり」とあり、決死の覚悟で生きれば人間は強く正しく生きることができるとのことです。この本の随所に珠玉の言葉が出てきます。私は時にふれ折に触れこの本をどことなく開いて心の拠り所としています。

<幹事報告>

◎濃飛グループガバナー補佐、下呂 RC 会長、IM 実行委員長より

・濃飛グループ IMI についての御礼

◎さいたまユネスコ協会より

・ハガキによるネパール奨学支援金 受領のお知らせ
…1口 9,000 円分(書き損じハガキ 200 枚分)

◎高山市都市提携委員会より

・高山市・越前市友誼都市提携 30 周年記念式典の開催について(ご案内)
日時 11月1日(木) 11:00~12:15(予定)
場所 高山市役所地下市民ホール

◎ぎふ清流国体高山市実行委員会より

・第 67 回国民体育大会ぎふ清流大会開催に係る慰労会について(案内)
日時 11月5日(月) 18:30~
場所 ひだホテルプラザ
会費 6,000 円

◎公益財団法人ボーイスカウト日本連盟より

・第 23 回世界スカウトジャンボリーの開催についてご支援のお願い
日時 2015 年 7 月 28 日(火)~8 月 8 日(土)
場所 山口市阿知須 きらら浜
※2012 年から 2015 年まで、年額 1 万円を一口として一口以上のご協力をお願い申し上げます

<例会変更>

美濃加茂 … 11 月 16 日(金)は、創立 45 周年記念式典開催のため
18 日(日)14:00~ メルヴェイユ平安殿に変更
11 月 23 日(金)は、祝日(勤労感謝の日)のため休会

<受贈誌>

高山 RC(会報)



奉仕を通じて平和を

例会報告

<出席報告>

区分	出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
前々回	42名	9名	51名	51名	100.00%
本日	36名	—	36名	51名	70.59%

<本日のプログラム> 雑誌広報委員会

委員長 河渡 正暁

本日は坂口周平様を講師としてお招きしました。

坂口様は津南RCに1982年入会、2001年会長になられ、2009年から2011年まで地区広報情報委員長を務められ、現在は、国際ロータリー第2630地区広報・情報部門アドバイザーでいらっしゃいます。「四つのテストを基礎基本として、地域社会、市民と絆を深める事が出来るように、双方向パブリックリレーションズを推進する事が、ロータリーを持続可能で活性化するものである」をモットーとしていらっしゃいます。

ロータリーの本当の広報がどうあるべきか、『双方向パブリック・リレーションズ』の事例発表を通して、CLP（クラブリーダーシッププラン）につながっていく将来性をみつけるお話をさせて頂きます。



国際ロータリー第2630地区 広報・情報部門アドバイザー 坂口 周平 様

津南ロータリークラブの会長就任前年の2000年、中学生の絡む殺傷事件が多発していました。当時、津南RCでは毎年5月30日に地域の方々と阿漕浦海岸を中心とした地域の清掃活動を行っており、これを中学生と共にやる事で、彼らが何を思い、世の中をどのように考えているのか、子供たちと触れ合って確認したいという思いから、橋南中学校へ出向きました。

当時の中学生は、挨拶も言葉遣いも、校長先生が「やめときなはれ」と言い切る程のものでした。しかし私は「意思表示もしない、何を考えているのか分からない様な生徒でも良いので、とにかく先生方のご協力を」とお願いして来ました。

『晴れたらいいね Beautiful Sunday』のキャッチコピーで社会奉仕委員会の活動として10月14日(日)開催を決定。当日は日本晴れ、ロータリアンは44名参加。本当に中学生は来るのか、疑心暗鬼。しかし定刻近くになるとぞろぞろと近寄ってきた約100名の子どもたちは、いつもより明るい表情。子供との会話で、心は寂しく、相手にしてくれる人を待っている、と気づきました。中学生は大人です。くどくど言わなくても理解してくれています。私たちが子供扱いするから余計反発したり、反抗したりするのだと思いました。

TVニュースや翌日の新聞で、参加者総勢160人と大きく報道されました。中学生へのインタビュー記事では「どうして参加したの?」の質問に「ビューティフルサンデーという言葉にときめいた」と書かれていました。翌日、中学生に礼状を届けた所、ご家族から「うちの子がRCさんから礼状をもらうなんて、びっくりしました」と言われました。

2ヶ月後の12月初旬に、中学生との協働の環境フォーラム『ビューティフルマイタウン 皆で語ろう 津の街を』を市の環境部長も出席してもらい開催。試験の前日にも拘らず大勢参加してもらいました。この件でロータリーを理解されていなかった先生方、生徒、市民の皆様にも少しでも理解されたようで、校長先生に「ロータリーさんよく判りました。皆さんは地域における責任ある方ばかりですね。今後共学校に対して協力をお願いします。」と、生徒の「職場体験学習」の依頼を受け、続いて学校への「講師派遣」に繋がっていったのです。職業講話の講師派遣は昨年10周年を迎え、記念事業として中学校にスペシャルオリンピックス日本の細川佳代子さん(細川護照熙元首相夫人)をお迎えして講演会を開催するに至りました。

会長の働きは2割、あとの8割は委員会にすべて任せ、ひとつの目標に向かって皆が力を合わせれば大きな成果が待っていることを理解できます。この年は、「ロータリーの友」へ3回、「ガバナー月信」へ2回掲載され、雑誌広報情報委員会は大活躍されたものでした。津南RCでは、この事業から各委員会に勢いがつき、地元の方だけで8名もの新会員入会に繋がりました。

奉仕は金銭ではありません。世相や社会問題を見据え、地域のニーズに応え得る奉仕を行う。そしてその旨を明瞭な文章で案内すれば、メディアも確かに応えてくれます。

ロータリーの奉仕はそれぞれの地域が抱えている様々な社会問題、例えば環境・教育・少子化・高齢化・経済・文化財保護など、今私たちに出来ることは何であるかの問題意識を絶えず持ち、それを選択し実践することです。本来の目的は何であるかを良く考え、一番良い所を継続する、ここに奉仕の原点があり、本来ロータリーが取り組まねばならないものだと思います。

奉仕を通じて平和を

例会報告

<ニコニコボックス>

●地区 広報・情報部門アドバイザー 坂口 周平 様
4年程前に卓話でお邪魔いたしました。しばらく振りですが本日もよろしくお願ひ致します。

●高山中央RC 剣田 広喜さん
本日は、坂口様の卓話を楽しみにして参りました。

●折茂 謙一さん
①本日のゲスト、国際ロータリー第2630地区 広報・情報部門アドバイザー坂口周平 様、卓話よろしくお願ひします。
②ビジター高山中央ロータリークラブ剣田広喜様、ようこそお越し下さいました。

●米澤 久二さん小瀬 真之介さん
①2630地区 広報・情報部門アドバイザー 坂口周平 様、ご来訪ありがとうございます。本日のお話、よろしくお願ひします。
②高山中央ロータリークラブ剣田さん、ようこそいらっしゃいました。
③14日、下呂水明館で行われましたIM参加の皆様、お疲れ様でした。楽しい時間ありがとうございました。

●河渡 正暎さん
雑誌広報委員長の河渡です。本日は私担当の例会です。講師坂口周平さん、飛騨というチベットの地へようこそお出で下さいました。2011年度地区の広報情報委員長の実績で、本日のロータリークラブの将来を見つめた活力あるお話を聞かせていただけます。最後までご静聴よろしくお願ひします。

●小田 博司さん
前回10月12日は職場訪問例会でした。多くの参加を頂き有難うございました。SAA、親睦各委員会のご協力に感謝します。

●井上 正さん
先日は入会に際し温かいメッセージを頂きありがとうございました。何も分からずに皆様にお世話になるばかりですが、どうぞよろしくお願ひします。

●小瀬 真之介さん
先日の会員増強委員会、ありがとうございました。

●東 庄豪さん
今日は私の結婚記念日です。まだ27年ですが、妻への感謝もあります。親に感謝。今は子供が年頃になりました。

●鍋島 勝雄さん
9、10日晴天に恵まれて、無事終了出来ました。しかし年を感じて疲れしました。来年の事を心配しております。また、例会のお祝いで今月21日の結婚記念日を知り、良く今まで一緒に居たと自分を褒めてやります。

●内田 幸洋さん
先週12日～14日、沖縄でゴルフプレーして来ました。風が強くて下手くそがさらに下手になりました。

●河尻 浩次さん
例会場の床のカーペットが一部はがれておりましたが、やっと修理してもらいました。長らくご迷惑をおかけしてすいませんでした。



一期一会 古橋 直彦

私が西クラブに入会した当時、JC（青年会議所）を卒業（40歳迄）した方の殆どは、自動的にロータリーかライオンズの何処か5クラブに吸い込まれていきました。また、いずれかに所属しないと何時までも勧誘が続くか、あいつは「変わり者だ」とレッテルを張られる様な時代でした。JC三昧だった私はJCの延長のような活動をしているクラブは避けたいと思っていました。そんな時、JC先輩の推薦で「西クラブ」に入会させて頂きました。例会は毎週あるがきっかり一時間、昼ごはんを食べて帰るだけ。「職業奉仕を通じてロータリー活動を」と教えられ「例会よりも仕事優先！」のスタンスを貫いてきました。そんな訳で他のメンバーほどロータリーに深く関わっていません。委員長から原稿依頼があり、改めて入会当時の写真をひっぱり出しました。当時は60名程のメンバーがみえましたが、何らかの理由で退会された方、お亡くなりになった方も沢山おいでで改めて20年と言う時の流れを感じます。入会後に縁あって知り合えた全ての会員に感謝しこれからも新たな出会いを大切にしたいと思います。

一期一会 「空」 井辺 一章

小学生の時、先生が新しく転任してきた、その頃私の学校は本校と2つの分校でした。遊んでいると本校生徒に勝てないぞ、とよく言われたものです。先生は冬になると北の空に北斗七星が綺麗に見えるぞ、と言われましたが、私たちの村からはそれは見る事が出来ません。南北に高い山があり、東西は細長く空が見えるのです。中学に上がると急に空が広くなり、専門学校で昔の稲葉郡へ出ると凄く広くなり、三菱電気に就職した名古屋では、山がどこに有るのかと思う位広い空でした。社長になりたいと思う心が頭を出し、社則に副業ご法度と決められており、必要な人間になろうと技術試験に挑戦しました。そしてアルバイトを始め、ガソリンスタンドでオイル交換を覚え10業種位経験しました。他に洋酒スナックでカクテル・フィズの勉強も、キャバレーでホステス50人位預り主任もやり、遂に三菱電気課長より高山営業所勤務を命ぜられ、高山に来て45年経過しました。

奉仕を通じて平和を